



## 死亡事故現場の安全対策工事を始めます

～ 音と振動で注意喚起 ～

- 15日に加賀市熊坂地先の国道8号のカーブ区間において発生した正面衝突による死亡事故を受けて、17日に国土交通省と大聖寺警察署、加賀市等が事故現場の緊急点検を行いました。
- 緊急点検では、大聖寺警察署から安全対策工事の提案があり、国土交通省は出来る対策から速やかに実施することとしました。
- 提案のあった安全対策工事のうち一部の工事の準備が整いましたので、22日（水）に開始します。
- 今後も、警察と協力しながら交通事故防止に努めていきます。

### 1. 緊急点検の概要

15日の交通死亡事故を受け、17日に国土交通省、大聖寺警察署、加賀市、道路利用者が事故現場の緊急点検を行いました。

その中で、カーブに対する注意喚起やみ出しの対策として、標識や路面表示を設置するとともに、音や振動で運転者に注意を促す以下の対策が、大聖寺警察署から国土交通省へ提案がありました。

- ①センターラインのカーブ区間（約100m）にランブルストリップスを設置
- ②ランブルストリップスの前後50m区間にグルーピングを設置
- ③グルーピングの手前に「カーブ注意」の路面標示を標示
- ④ガードレールに反射材を設置
- ⑤「屈曲あり」の警戒標識を点滅式の目立つものに変更

国土交通省では、出来る対策から速やかに実施することとしました。

### 2. 対策工事の開始

上記の5項目について、早速工事の手配を行ったところ、②、③、④について、工事の準備が整いましたので、以下の日程で工事を実施します。

**工事の実施 : 10月22日（水） 10:00～16:00**

注）10:00～11:00の間は現地での取材に対応できます。

それ以外の時間でも工事はしていますので、撮影は可能です。

①、⑤の対策工事については、概ね3週間以内に実施できる見込みです。

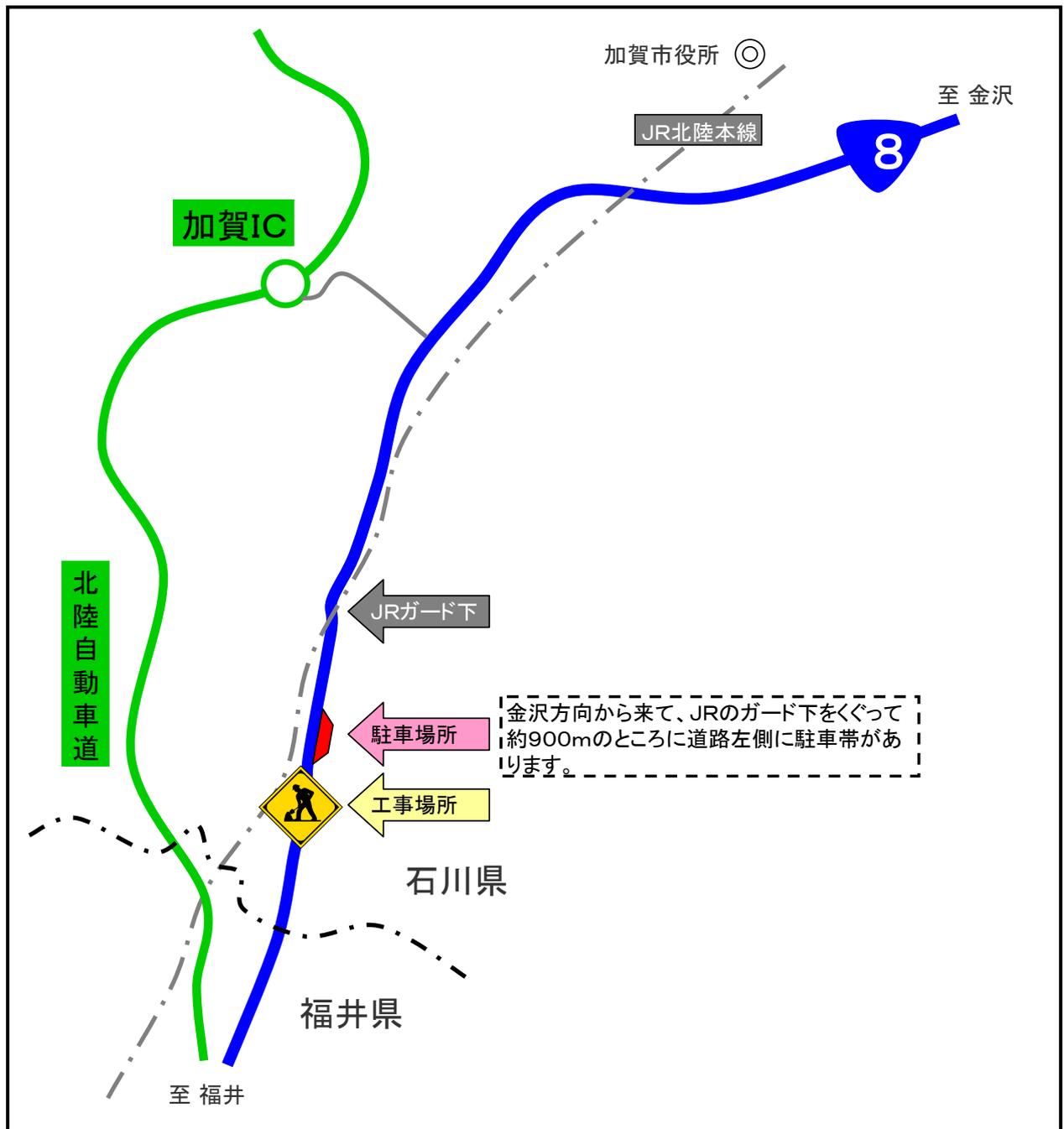
#### 【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

加賀国道維持出張所長 澤山 雅則

Tel: 076-276-0797

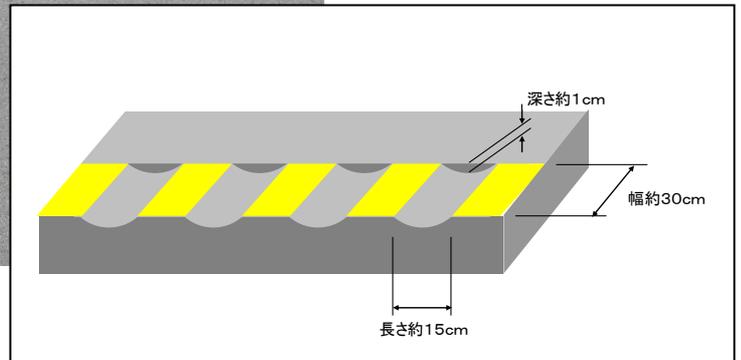
別紙-1 位置図



## 別紙-2 用語の説明

### 【ランブルストリップス】

舗装路面に一定間隔に半円形のくぼみを彫り込んだもので、この上を走行すると、タイヤから大きな音と振動が伝わり、運転者に注意を促します。



### 【グルーピング】

道路の横方向に細い溝を連続して彫り込んだもので、この上を走行するとタイヤから音と振動が伝わり、運転者に注意を促します。音と振動はランブルストリップスよりも小さい。

